

砲術參錄

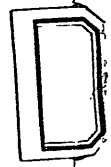
自昭和十三年一月一日
至同 一月三十一日

15
25

第四水雷戰隊司令部事變日誌
(作戰及一般ノ部)

所屬	第三艦隊
役務	司令部警戒部隊

0762



(註)

- 一、中央標準時使用
- 二、通信種別、欄「ハ」信號「ハ」無線通信ヲ示ス
- 三、發受信時刻、欄發ハ發令時刻受信ハ譯了時刻ヲ概示ス
- 四、着信中、戦闘詳報掲載ナルモノハ其摘要ノミヲ掲グ

(終)

0763

職名		等位階勲等氏		名	
司令官	海軍少將	正五位勲二等	細萱	戊子郎	
参謀(首席)	海軍中佐	正六位勲五等	泊	満義	
同(砲術)	海軍少佐	從六位勲六等	内田	成志	
同(航海)	海軍大尉	正七位	吉峰	高見	
戰隊機関長	海軍機関大佐	從五位勲三等	向野	一	
参謀(機関)	海軍機関少佐	從六位勲六等	櫻井	金藏	
司令官	海軍兵曹長	勲八等	大橋	安之	
(二)司令部下士官兵各種別全員数(同)					
定員	現員	計	計	計	計
特種	支	員	員	員	員
信	號	高	二	二	二

0764

合割從定			員現員	(三)司令部 傭人員數(同)	令		科計主		科		兵		
計	烹	僕			計	經理以外	經理	無暗	電信	普	高	普	
二	一	一			一三	一	一	二	二		五		
					六	一		一	三		一		
二	一	一			九	二	一	二	一	二	三	五	一
					三				一		一		
					三				一		二		
					二								一
					二	一		一					
					一			一					
					一	一		二	二		三	一	
					三						三		
					三				一		二		
					一		一						
					一	一							
					八	一	一		一		五		
					一								
					九	二	一	二	一	二	五	三	一

0765

一月一日 土曜 所在(正午位置) Middle ground 緯度32°25'N

時刻	要項	天	候	風	力	氣	温
一六〇〇		曇	晴	向	m	m	9.5 8.7

一般情况

(一) 當隊(第一水雷隊欽)ハ中支部隊第二警戒部隊トシテ北緯三十三度三十分以南魚山群島以北支那沿岸及吳淞(含マズ)下流揚子江ノ封鎖監視任務ヲ續行シソ左記配備ニ在リ

木曾	馬鞍群島綠華山泊地
曉	象山浦三門灣方面監視配備
雷	杭州灣揚子江方面監視配備
連	一聯空木更津部隊ノ基地員物件輸送任務ニ從事 中ニシテ南京ニ在リ

(二) 第一水雷隊ハ二分レ鵠鴻ハ第一警戒部隊 隼 鷗ハ根據地部隊ニ配屬セラレ前者ハ揚子江上流方面後者ハ吳淞方面ニ在リ

主要記事

0766

三、主要行動作業

一、B作戦實施ニ関連シ任務變更等、電報ヲ接受ス
 二、本日珍ラシクモ敵機一機、蕪湖飛行場ニ飛來、爆撃セシモ飛行
 場外ニ彈着シ被害ナシ

四

主要令達報告通報

時刻	艦名	記	事
一三三〇	隼	龍潭水道ニ向ケ南京發	
一四〇〇	隼	南京着	
一五〇〇	隼	龍潭水道着	
一五四〇	隼	上海向ケ南京發	
一八三〇	隼	鎮江假泊	

發信時刻	通信	發信者	着信者	通	信	文
一〇三〇	〓	4sd 参謀	CSF 軍医長	4sd 機密第一番電	前半ヶ月間戦死傷者ナシ	
一二四五	〓	P CSF	CSF (各官總長 各2H各鎮各官 各要司令官)	支那方面艦隊電令作第二七二號	封鎖區域ノ分担變更ノ件	一日一〇〇〇

0767

[illegible]

0768

一月二日 日曜 所在(正午位置) 上海

時刻	要項	天	候	風	向	風	力	氣	温
一六〇〇	〇〇	曇	曇		NW	m	4		30
一〇〇〇	〇〇	曇	曇		NW	m	5		25

一、主要記事

- (一) 本日〇八〇〇以後B部隊ヲ編制セラレ當隊(第一水雷隊欠)ノ固有任務ハ根據地部隊及南支封鎖部隊ガ担任スルコトナル
- (二) 〇八〇〇以後監視配備ヲ撤シ木曾ハ上海ハ驅逐隊(連欠)ハ吳淞(面航セシム
- (三) 一五〇〇ヨリ嚴島艦長神祥凡監督官横鎮一特陸司令吳鎮一特陸司令ヲ木曾ニ参集特陸人員物件ノ搭載輸送ニ付打令ハス

二、主要行動作業

時刻	艦名	記	事
〇八三〇	雷	吳淞ニ向ケ杭州湾發一三四五着	

0769

①

三、主要令達報告通報

受信時刻 種別	発信者	随報者	通文
〇二五五 pr	〇二〇〇 pr	P-45d (CSA 次長) 聯合司令部	4月機密第七九番電一日二二〇〇 B部隊電令作第三號(二月二日午前八時發令) 第四水雷戰隊(第一水雷隊缺)聯合陸戰隊編成 ニ関スル件
P-45d P-45f P-45g P-45h P-45i P-45j P-45k P-45l P-45m P-45n P-45o P-45p P-45q P-45r P-45s P-45t P-45u P-45v P-45w P-45x P-45y P-45z	P-45d P-45f P-45g P-45h P-45i P-45j P-45k P-45l P-45m P-45n P-45o P-45p P-45q P-45r P-45s P-45t P-45u P-45v P-45w P-45x P-45y P-45z	4月機密第七九番電一日二二〇〇 封鎖部隊電令作第三三號 揚子江口以南友那沿岸担任區域變更ニ関スル件 軍機密第七九番電一日二〇〇〇	4

〇四〇〇	狹霧	吳淞ニ向ケ三門灣發一四五〇着
〇六五〇	曉	吳淞ニ向ケ象山浦發一五〇〇着
〇七三〇	漣	鎮江發一七〇〇上海着
〇八〇〇	木曾	上海ニ向ケ綠華山泊地發一四三〇着
〇八一五	郷青	吳淞ニ向ケ綠華山泊地發一三〇〇着
〇九三〇	電	吳淞ニ向ケ九段發一三〇〇着
〇	鴻	蕪湖發一二三〇上夾口(蕪湖上流一六哩)着

0770

〇 九 四 五 P	〇 九 〇 〇 P	〇 四 一 〇 P	〇 三 一 〇 P
CSA 参謀長	P 4sd	P 4sd	庫 艇 長
(上 radg 上 bdg)	(P 4sd 指揮官 次長)	(4sd 12g 欠 CSA 参謀長)	P 11S 上 12g 佐 田 特 司令
CSA 機密第五五九番電 二日〇九〇〇 駆逐隊ノ黃浦江入港ハ暫ク待タレ度	CSA 機密第五五九番電 二日〇九〇〇 逐隊ハ木曾艦長ノ要求ニ應ジ所要援助ヲナ スモノトス	4sd 機密第一番電 本日中ニ上海ニ集合セヨ(ハッ。發令)	本日午後三時陸戦隊中井部隊ヲ龍潭水道 兩岸ニ揚陸徹底的ニ搜索警戒ヲナス午後七時 全員般艦閉塞船下流一〇〇米ニ於テ電線五〇米 ヲ発見隊收メモ右ハ途中切断エヤニ母ギッス 本日ハ主トシテ閉塞船ヲ中心トシテ附近ノ試掘搜索 ヲナセリ明日ヨリ中井部隊及本艇陸戦隊ヲ 以テ同搜索ヲ續行セントス

0771

二〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
pr	pr	pr	pr
CSH 参謀	P 4sd	4sd 参謀	4sd 参謀
4sd 参謀	(CSH 参謀長) 4sd (179)	上海軍需品 供給所 4sd (179)	上海軍需品 供給所 4sd (179)
CSH 機密第五六二番電 二日一〇〇〇	4sd 機密第一七番電 駁艇ハ特令スル迄吳淞沖ニ待機セヨ	4sd 機密第二〇番電 一本日當隊ニ水雷隊缺一上海入港後至急陸戦隊員用防寒被服約三〇〇名分供給セラレ度所要数ハ直接各隊艦ヨリ電報ス 上海ニ在庫品無キ場合ニ四日頃佐世保發ノ沖島ベルファスト丸或ハ山東丸便ニ托送方取計ハ レ度	4sd 機密第一八番電 一上海入港後同地軍需品供給所ヨリ特減彈ヲ補充ニ置カシ度配給區分ヲ左ノ通トス 一駁艇ハ發 六駁艇ニ發 二陸戦隊員(第三編制ニ對シ準備)ニ着用セン 六キ防寒被服其他必要品ハ各隊艦毎上海軍需品供給所ニ請求セラレ度 所要ニ應ジ當方テ 統制ニルコトス

4.2

0772

一八四〇	一六〇〇	一二四五	
pm	pm	pm	
P 4sd	P 4sd	(SF) 参謀長	
4sd (tg 父) 最島艦長 神祥丸監督官 吳二特司令 横特司令 (所参謀長) 香港務部長	10dg	P 4sd 参謀長	
4sd 機密第二番電 明三日各隊(艦)ノ上海入港(繋留換)時期整 繋留位置置ヲ左ノ通定ム 一木曾 一二三〇頃 招商局北棧 二10dg (連欠ノ七〇〇頃 OSK 棧橋(最島ニ横付) 三6dg (電欠) 一二三〇頃 招商局北棧(木曾ニ横付) 四電連 追而令ス一四〇〇以後十二節即時待機ト ナシ置ケ	4sd 機密第二番電 一連ハ便宜上海面航明三日〇九〇ヨリ所定浮標 ニテ重油ヲ搭載スベシ ニ各艦「ディーゼル」用重油十五吨宛請求ス 三燃料ハ全部直買トス	4sd 機密第二番電 一連ハ便宜上海面航明三日〇九〇ヨリ所定浮標 ニテ重油ヲ搭載スベシ ニ各艦「ディーゼル」用重油十五吨宛請求ス 三燃料ハ全部直買トス	已に逃隊ノ黄浦江入港ニ関スル件 (SF) 機密第五番電二日〇九〇 第四水雷戦隊其他艦船ノ上海出入港特別陸 戦隊ノ乗艦等ニ関スル件

P
4sd
35s
P
4sf

B 部隊電令作第一號

0773

部隊 表長山 鋤地 = 集合件

一月三日 月曜 所在(正午位置) 上海

時刻	要項	天	候	風	向	風	力	氣	温
一六〇〇			N		m	4			0.8
一〇〇〇			W		m	5			2.5

一、主要記事

(一) 鴻小鷹ト共ニ陸軍作戰ニ協力上夾口(蕪湖上流十六里)方面ニ進出セリ
 (二) 午後横鎮一特陸、吳鎮一特陸、人員物件ヲ搭載ス

二、主要行動作業

時刻	艦名	記	事
〇六四五	曉狹霧	吳淞發	〇八〇〇上海着
一二〇〇	雷響	吳淞發	一三〇〇上海着
一四〇〇	電	吳淞發	一五〇〇上海着
二〇三〇	神祥丸	裏長山列島ニ向ケ	上海發

0775

三、主要令達報告通報

一五〇〇	一三〇〇	一三四三	一二三〇	一〇五〇	發信時刻 種別
pr	pr	pr	pr	pr	發信者
P 4sd	4F 參謀長	沖島艦長	P CSF	P 4sd	着信者 復報者
4F 參謀長 (聯特司令官)	P 4sd 沖島艦長 一聯特司令官	P 4sd 次長 (P 4sd)	P 4sd 上陸司令官 一聯特司令官 總長 (P 95 大臣)	4sd (港務部長) (上海事務部長)	通 信 文
4sd 機密第三番電 貴機密第八六番電迄五日中ニ集合可能	4F 機密第八六番電 三日一三〇〇 裏長山集合ヲ極力早クトシ集合地着日時知 ラサレ度	沖島機密第八六番電 三日一三〇〇 第一聯合特陸司令官ノ協議ニ應ジ三日午後四 時三十分出港六日午前中裏長山列島着豫定	CSF 機密第五七九番電 三日一一〇〇 支那方面艦隊電令作第一七三號 支那方面艦隊電令作第一七〇號中「吳一特」次ニ 上陸ノ部「戰車隊(中戰車二裝甲自動車六 及砲隊(十二榴四門)」ヲ加フ	4sd 機密第三番電 三日一〇五〇 電八四〇以後便宜出港九番浮標ニ繫留セヨ	

0776

一九一五 pm	一七二五 pm	一七〇〇 pm	一六二〇 pm
佐需課長	上海要需 供給部	4sd 参謀	105 参謀
4sd (149足) 4sd 参謀	4sd (149足) 佐需課長 (4sd 参謀)	105 参謀	4sd 参謀
佐軍需機密第二九號 三日一八〇〇 防寒用物件發送済一件	上海要需機密第一六番電 三日一五〇〇 四水戦ヨリ請求、防寒材料在庫皆無(僅少)付 佐軍需ヨリ供給一件	三上海佐世保間通信艇、綠華山錨地ニ立寄ル ヲ例トス 二舟山叢島以南大型戒克時々出没スル外特申 繼々ハキ事(例ナシ) 一隻配備スルヲ例トセリ	105機密第二四二番 三日一五〇〇 封鎖申継事項(特ニ當方自兵力配備ニ参考 トナル事)知ラレ度 4sd機密第三四番電 三日一七〇〇 貴機密第二四二番電返 一當隊ハ杭州湾舟山叢島南方及綠華山各

0777

一月四日火曜 所在(正午位置) 上海

時刻	要項	天候	風向	風力	氣温
一六〇〇	リ	半晴	向	m 5	2.5
一〇〇〇	リ	晴	向	m 2	2.4

一、主要記事

(一) 四式(五機) 小砲四門及同種藥丸六捆(二〇〇〇發)ヲ木曾ニ搭載ス
 (二) 一六〇〇 木曾ヲ最後トシ當隊水上雷隊及嚴島神祥丸ハ吳鎮第一特陸 横鎮第一特陸ヲ乘艦市衣長山列島ニ向ケ上海ヲ出發ス

二、主要行動作業

時刻	艦名	記
〇〇〇〇	曉	裏長山列島ニ向ケ上海ヲ發
〇五四〇	嚴島	裏長山列島ニ向ケ上海ヲ發
〇六〇〇	雷響	裏長山列島ニ向ケ上海ヲ發
一〇〇〇	連	裏長山列島ニ向ケ上海ヲ發
一二〇〇	電	裏長山列島ニ向ケ上海ヲ發

4/1 (2)

三 主要命令達報告通報

二六〇 P 木曾 裏長山列島向上海發

一三五五	〇〇一〇	發受信時刻
pr	pr	種別
P/4H	P/4H	發信者
11wg 3ss 4sd 27dg 26g 沖島 4sf	4sd 神祥凡 14g 望戸ハトラート 凡球磨電驛 廣徳凡其他	着信者
通 信 文		
4H 機密第八二番電三日一六〇〇 B 部隊電令作第八號 裏長山列島ニ於ケル B 部隊錨地指定ノ件 4H 機密第八二番電四日一二〇〇 B 部隊電令作第九號 第二砲艦隊ニ十七驅逐隊十五驅逐隊十一掃海 隊第九潜水隊第十三潜水隊ハ月六日午後 零時迄ニ裏長山泊地ニ集合スベシ 驅逐隊砲艦隊掃海隊錨地ハ四艦隊機密第八二 番電ニ依ル各司令艦艇錨地ヲ基準トシ列線 方位ニ〇度トス潜水隊錨地ハ球磨ノ一九一度 七〇米ヲ基準トシ列線方位ニ二〇度トス 二四航戰參謀一名ト能登呂衣笠凡飛行長ハ六日午 後零時迄ニ裏長山ニ於テ足柄ニ參集スベシ		

0779

一六〇	一四〇	一四〇
pr	pr	pr
P 4sd	P 4sd	P 4sd
4万参謀長 (参謀長) (参謀長) (参謀長)	4sd (129) (参謀長)	4sd (129) (参謀長)
4sd 機密第四二番電 當方面B作戰部隊全部上海發六日〇八〇〇 近二作業地着ノ豫定	4sd 機密第四二番電 各隊共列方位二五度中距離 一木曾蚶蛇砲子(七〇)ノ一〇七度一四〇〇米 二驅逐隊曉ノ錨位大銀窩石(一六)ノ二二五度二〇 〇〇米 雷ハ曉ノ二二五度四〇〇米	4sd 機密第四二番電 機密第四二番電 作業地ニ於ケル錨地ヲ左記ノ通改ム 作業地ニ到着時刻ヲ六日〇八〇〇近ニ改ム

8

0780

一月五日水曜 所在(正午位置)航海中 (35°27'N, 122°40'E)

時刻	要項	天候	風向	風力	氣温
一六〇〇		半晴	NNW	m 10	-0.3
一〇〇〇				m 12	2.5

一、主要行動作業

時刻	船名	記	事
一五〇〇	雷郷	裏長山列島錨地着	
二三〇〇	曉狹霧	裏長山列島吟仙島、南ニ假泊	

三、主要命令達報告通報

發受信時刻	通稱	發信者	受信者	通信文
一五〇〇	PM	P 4sd	4sd (1tg 名)	4sd 機密第四五番電
			4d 参謀長	一、明日特令無キ限リ左記ノ外信令第二七號ト同 一、要領ニ依リ當隊聯合陸上教練ヲ施行ス 一、第一編制 二、集合場所 茲時刻 大長山島日本 塩業會社西方平地。九三〇 (三) 終了豫定時刻

0781

一六〇〇
同日機密四水我命令第二五號ノ要領ニ準ジ
各艦ハ隊毎ニ通信訓練ヲ實施スベシ

0782

一月六日 木曜 所在(正午位置) 鹿児島老鉄山(249) 150° 2.21度

時刻	要項	天候	風向	風力	氣温
一六〇〇		晴	NW	5	-8.0
一〇〇〇		晴	NE	6	-10.0

一 主要記事

- (一) 一四〇〇ヨリ足柄ニ於テ各級指揮官幕僚参集シB作戰ニ関スル打合せ會アリ
- (二) 大長山島ニ於テ當隊聯合陸戰隊(第一編制)ノ聯合陸上教練ヲ施行ス。〇九〇〇開始一六〇〇終了
- (三) 第一水雷隊司令ハ司令艇ヲ一時鶴ヨリ鴻ニ變更セリ

二 主要行動作業

時刻	艦名	記	事
〇二〇〇	神祥丸	裏長山列島着假泊	
〇七三〇	連	裏長山列島錨地着	
〇七四八	木曾	裏長山列島錨地着	

0783

三、主要令達報告通報

發受信時刻	通	發信者	受信者	通	文
〇九三五	P	P	4sd	當地在泊中	通常警戒トナセ但レ灯火警戒
一六二五	P	4sd 參謀	一聯特參謀	陸戰隊所屬ノ信號員電信員暗號員ヲ	以テ便宜徴備輸送船ノ當直勤務ヲ補助セム
一九四〇	P	足柄	(船)	第四水雷戰隊ヨリ派出ノ聯合陸戰隊ヲ第一	編制トスル件
信令第二九號					

〇七五二	電	裏長山列島錨地着
〇七五五	一番隊	假泊地ヨリ指定錨地へ轉錨
〇八一五	嚴島	裏長山列島錨地着
〇八〇〇	神祥丸	假泊地ヨリ指定錨地へ轉錨
〇八〇〇	二番隊	假泊地ヨリ指定錨地へ轉錨
〇八四〇	沖島小東丸	裏長山列島錨地着
一二〇八	足柄	裏長山列島錨地着

0784

二 〇 〇	二 一 〇	二 〇 五
pr	pr	P
4sd 参謀	P 4sd	P 4sd
廣徳 監督官	4sd (159人) 戸新二尉特 司令官廣 徳監督官	4sd
4sd 機密第五番電 小發動艇ノ重量及「ダビット」へ揚收シ得ル「スリ ング」アリア知ラサレ度	4sd 機密第五番電 第十驅逐隊ハ廣徳凡入港次第之ニ横付シ同 隊乗艦中ノ陸戰隊ヲ同船ニ移乗セシムベレ 廣徳凡入港豫定日時明七日二〇〇	機密B部隊命令第三號依ル第三掃海艇隊ノ 編制ヲ左ノ通定ム 一 指揮官 木曾水雷長 二 派出 狀 木曾及驅逐艦各一

0785

一月七日 金曜 所在(正午位置) 廣鹿島北鉄山 (249), 150° 7.2 哩

時刻	要項	天候	風向	風力	気温	湿度
一六〇〇		晴	WNW	m 7	m 11	-11.5 -12.3

一 主要記事

- (一) 廣徳丸入港後第十驅逐隊ニ乗艦中 吳鎮第一特陸ヲ横什ノ上移乗セルム
- (二) 室戸護衛部隊ニ編入
- (三) 第三掃海艇隊ノ掃海教練ニ参加ス
- (四) 〇八三〇 廣徳丸入港ス

二 主要令達報告通報

一二二〇	〇四五〇	發信時刻	種別	發信者	著信者	通	文
P	PM	廣徳丸 監督官	4sd 參謀	廣徳丸 機密第二九番電	七日〇〇〇		
二聯參謀	4sd 參謀	廣徳丸 小發動艇ノ各艦配付見合セノ件					

0786

二三五九	二三四五	一三五〇
P	P	P
足柄	P 4sd	足柄
(船)	巖島球磨 4sd 沖島	(船)
一月十日作戦決行件	明八日以後第二第三掃海艇隊各指揮官 定ル所ニ依リ便宜訓練ヲ行フヘシ	室戸ヲ護衛部隊ニ編入件

0787

一月八日 土曜 所立(正午位置) 鐵山(249), 150°, 7.2

時刻	要項	天候	風向	風力	氣温
一 六 〇 〇	一 〇 〇 〇	晴	NNE 2	m 5	-65-99

一、主要記事

(一) 愈ミ來十日ニ部隊ニ依ル青島攻略作戰ヲ實施セラルルコトト
ナリ豫定通護衛部隊モ左記順序ニ裏長山列島ヲ出港ス
沖島・山東丸・ブルファスト丸・嚴島・四水戰・神祥丸・廣徳丸
(二) 出港後第一警戒航行序列ヲ制ル隊形終ル頃夜暗トナル
(三) 室戸ヲ護衛部隊ヨリ除キ主隊ニ編入セラル

二、主要令達報告通報

發信時刻	〇 〇 五
通信種類	pr
發信者	44 長官
着信者	13 部隊 佐CS 終長 佐CS 終長 旅要司令官
通信文	44 機密第八七五番電 七日二三〇〇 13 部隊電令你第一四號 一月十日 13 部隊戰ヲ決行スル件

〇九二五	P	嚴島	4sd 參謀	掃海訓練及通信訓練施行ノ件
一〇一〇	P	廣徳丸	P 4sd	發動艇却ヒ方及分隊關係上繰上出港指令ヲ午
一〇五〇	P	P 4sd	嚴島 4sd 沖島	一廣徳丸ヨリ小發動艇移動ノ件取止ム
				二掃海艇隊中木曾沖島嚴島内火艇各
				一掃海終了後現場ニ残留シ上陸時救助火
				トナルモノトス
				三各艦ハ陸戰隊上陸時各救助艇ヲ用キ置ク
一二三	P	足柄	「船」	三部隊指令第二五號
				室戸ヲ護衛部隊ヨリ降キ主隊ニ編入ス
				機密部隊護衛部隊命令第一號中互ノ
				通改ム
一二五	P	P 4sd	「船」	一航行隊形
				一室戸ヲ除キ第三第四分隊ヲ合シタルモノヲ新ニ
				第三分隊トス
				二第三分隊ノ航行序列ヲ曉ベルファスト神祥ノ狹
				霧連ノ順トシ驅逐艦間三五ノ木其也五ノ米ト
				三泊地箇中室戸ヲ除キ同艦ノ位置ニ曉ヲ入レ第十

0789

二 一 〇 〇	二 一 〇 〇	一 六 四 〇	一 四 四 〇	
mm	mm	P	P	
P 4sd	P 4sd	4sd 参謀 一聯特参謀	P 4sd	
廣徳丸監督 嚴島艦長	護衛部隊 (44参謀長)		4sd 沖島室 戸嚴島 山東丸神符丸 廣徳丸ベ ルファスト丸	
4sd 機密第五番電 嚴島及廣徳丸ハ嚴島先導ト下ニ九日午前九時分離 先行ト十日午前零時迄ニ小公島東方海面ニ至リ待機	4sd 機密第五番電 斜前狹霧ハ同右斜後約二十五軒ニ占位シ通航 船舶ノ状況ヲ報告スベシ	4sd 機密第五番電 明日日ソセ〇以後特令スル時刻迄連ハ木曾ノ右 艇卸方ニ從事セシメラル 右艦隊司令部トモ 打合済	廣徳丸ハ明朝分離先行シ泊地掃海完了直後 (掃海順調ナル場合ハ午前二時頃)入港發動 出港後第一警戒航行序列ニ占位セヨ 速力半速	驅逐隊二三番艦、錨地ヲ一艦宛繰上グ 三掩護射撃ノ項中、曉ヲ第一區射撃艦トス 一機密日部隊護衛部隊命令第一號ニ依ル出港 順序ヲ沖島山東丸ベルファスト丸嚴島四水戰神 祥丸廣徳丸トス

0790

三、所見

小發動艇ヲ「タビツ」ニ懸吊シ得ル如ク機装ニ置クノ要アリ

二二〇〇	
100	
45d 参謀	
15dg	45d 参謀長 100 聯隊司令官 護衛隊
45d 機密第五三番電	掃海部隊、泊地掃海完了後（掃海順調ナル時）八午 前二時ノ豫想直ニ指定錨地ニ進入廣徳丸ハ舩艇 卸方ヲ開始スベシ
サレ度	嚴島廣徳丸泊地進入ノ迅速ヲ期スル為「掃海完了」 泊地進入差支ナシ、規約信號トシテ「ヨ」三回連送 サレ度

0791

一月九日 日曜 所在(正午位置)航海中(36°-37'N)
(123°-12'E)

時刻	要項	天	候	風	向	風	力	氣	温
一六〇〇		晴		W	W		9		0°-0.7

一 主要記事

- (一) 晝間漣ヲ斜前狹霧ヲ斜後ニ配シ行合フ外國船等ニ對シ警戒セシム
- (二) 〇九〇〇嚴島及廣徳九ヲ解列先行セシム
- (三) 一七〇〇第二警戒航行序列(泊地進入隊形同ジ)ヲ制形セシム
- (四) 天氣都合ヨク海上極メテ平穩ナリ
- (五) 本日第一水雷隊司令ハ司令艇ヲ鴻ヨリ鵲ニ復歸セリ

二 主要令達報告通報

發信時刻	發信者	受信者	通	信	文
					本日左記ニ依リ陸戰用機銃ベルグマン拳銃等ハ試射ヲ行ヒ差支ナシ

14

0792

二〇〇八	一九〇〇	一三二五	一二三〇	一〇〇〇	〇九四五
pm	pm	pm	pm	pm	P
嚴島艦長	P 45d	P 45d	45d 参謀	P 45d	P 45d
護衛部隊指揮官 掃海隊指揮官	護衛部隊 (45d 参謀 35d 司令官)	護衛部隊 (45d 参謀)	45d 参謀	遊撃艦長 護衛部隊	狹霧連
嚴島機密第七一番電 發動艇卸方作業、關係上ナルベク速ニ錨地ニ進入スル件	報スベシ 二嚴島廣徳丸ハ入港セズ其ノ錨位ヲ報告通 緑灯一個ヲ點出スベシ 二嚴島ハ護衛部隊入港ノ際目標トシテ方向性	45d 機密第六番電 二嚴島ハ護衛部隊入港ノ際目標トシテ方向性	45d 機密第五八番電 連狹霧ハ一五〇〇ニ到ラバ現任務ヲ止メ復脱セヨ	45d 機密第五七番電 英國商船ニ對シテ航路ヲ執ル	二午前一〇〇〇ヨリ一ニ〇〇迄 午後一四〇〇ヨリ一六〇〇迄 ニ各銃三〇發以內 三外方ニ向テ射撃シテ先ニ注意ヲ要ス 連ハ一三〇頃本隊ニ四七度ニ變針セバ不測ノ 左斜前ニラセヨ

0793

一月十日 月曜 所正山下位置 大江口

一、經過概要

時刻	要項	天候	風向	風力	氣温
一六〇〇		曇	SSW	m 7	3.5
一六〇〇		晴	SW	m 7	13

時刻

記

事

〇一〇〇	嚴島豫定錨地着
〇一二〇	廣徳丸豫定錨地着作業開始
〇二〇八	驅逐艦薄ト會合同艦掃海水道ヲ嚮導ス
〇二二三	護衛部隊ニ對シテ豫定錨地ニ碇泊シテ發令ス
〇二二五	木曾入港針路ニ入ル
〇三〇〇	木曾大江口錨地着
〇三五〇	護衛部隊全部大江口ニ入泊ス
〇四一六	掃海艇隊掃海ヲ開始ス
〇四三〇	ブルファスト丸廣徳丸發動艇卸方ヲ終了ス
〇五四〇	第十驅逐隊浮山所灣ニ向ケ出港ス

15

0794

10/1

二 主要記事

一 護衛部隊ノ泊地進入ハ掃海區域ノ標識灯アリ赤島ノ白灯アリ
加フルニ視界ノ良好海上平穩ナリシ為頗ル容易ニ行ハレ順當ニ經

0六三〇	第十驅逐隊浮山所灣着
0六四五	四水戦艦「陸戦隊用意」ヲ令ス
0七二〇	掃海艇隊上陸海面ノ掃海ヲ終了ス
0七三〇	陸戦部隊第一上陸部隊揚陸ヲ開始ス
0七三五	四水戦艦陸戦隊乗艇發進用意ヲ令ス
0七五五	四水戦艦陸戦隊發進ノ模様ヲ見合セ發進ヲ令ス
0八二五	木曾六駆三乗艦中ノ横一特陸揚陸ヲ開始ス
0九三〇	横一特陸揚陸終了
一三三〇	ベルファスト丸ヲ先頭ニ浮山所灣ハ轉錨ヲ開始ス
一三四五	陸戦部隊ノ揚陸全部完了ス
一四三〇	木曾大江口發
一四四五	沖島浮山所灣着直ニ棧橋構築作業ヲ開始ス
一五〇六	木曾浮山所灣着
一五四五	連大江口ニ向ケ浮山所灣發

0795

10/1

一二二〇	一五五	一〇三〇	〇九〇五	〇八三五	〇七一五	〇五四五	〇四三〇	〇四〇〇	〇三五〇
P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
10dg	足柄	足柄	4H 参謀	10dg	10dg	P 4sd	P 4sd	P 4sd	P 4sd
B 部隊	(船)	B 聯隊	木曾川島	一聯隊司令官	P 4sd	其隊指揮官	一聯隊司令官	大佐 總長各	(護衛部隊)
10dg 機密第三七八番電陸戦隊先頭、辛家庄ニ進出セリ	信令第二十六號ニ錨地中嚴島、錨地ヲ室戸ニ改ム 信令第二十七號ニ錨地及浮山所灣ニ転錨ニ関スル件	第三次以後、上陸ヲ浮山所灣ニ於テ行フノ件	浮山所灣ニ浮橋構築策發令ニ関シ準備ノ件	浮山所灣附近状況ノ件	10dg 機密第三七六番電 十日〇六〇〇	〇五四〇第十駆逐隊 浮山所灣ニ向ケ進出ス	4sd 機密第六四番電 ベルファスト丸廣徳丸發動艇卸方終了	4sd 機密第六三番電 B 作戦護衛部隊(4sd 19) 中島嚴島神祥丸ベルファスト丸山東丸廣徳丸ヲ率ヒ〇三五〇作戦地着	4sd 機密第六二番電 護衛部隊全部入港直ニ揚陸準備並ニ掃海ヲ開始ス

0797

一三四	一四二	一二七	一二五	一二〇
P	P	P	P	P
$\frac{P}{4sd}$	$\frac{1}{10dg}$	$\frac{P}{4sd}$	$\frac{P}{4sd}$	$\frac{P}{4sd}$
嚴島	作戦部隊 P 45	木曾、東丸 神祥丸、廣 徳丸、 徳丸、 木曾、順トス	廣徳丸 心ファスト丸 海峽ニ居ル大發小發ハ本艦ノ機動艇ニテ浮山所 灣ニ引率回航スルコトトス	山東丸、廣徳丸、 神祥丸、 心ファスト丸 浮山所灣ニ於ケル錨地ヲ左ノ通指定ス 廣徳丸ノ錨位ヲ崖兒頭(西)ノ一四度八〇米トシ 東ヨリ廣徳丸、神祥丸、心ファスト丸、木曾、嚴島 ノ順ニ列線方位ニ七〇度間隔五〇米
出港順序ベルファスト、神祥、山東、廣徳、木曾、嚴島ノ順	浮山所灣ニ於ケル錨地ヲ左ノ通指定ス 木曾ノ錨位崖兒頭(西)ノ一四度八〇米、嚴島ハ木曾ノ一四度八〇米、廣徳丸ノ錨位崖兒頭ノ一四度八〇米トシ東ヨリ廣徳丸、山東丸、神祥丸、心ファスト丸ノ順	本日一三三。浮山所灣指定錨地面航セヨ 出港順序ベルファスト丸、神祥丸、山東丸、廣徳丸、木曾、順トス	機密第三セリ番電 十日一二〇。 辛家庄及浮山所灣ノ部落日丸及白旗掲揚ノ件	浮山所灣ニ於ケル錨地ヲ左ノ通指定ス

0798

一五〇〇	一四二五	一四一〇	一四〇〇	一三五五	一三四〇	一三三五
pr	P	pr	pr	pr	pr	P
$\frac{P}{4sd}$	曉	$\frac{P}{10dg}$	$\frac{P}{10dg}$	$\frac{P}{4H}$	$\frac{P}{10dg}$	曉
陸軍機密 第十駆逐隊司令 其隊一艦ヲ指定シ速ニ大江 口附近ニ到ラシメ故障及坐礁發動艇並ニ不肖月	B部隊	B部隊 P 4H	B部隊 P 4H	B部隊 旅要員 B 4H	B部隊 P 4H	B部隊
浮山所附近住民陸戦隊ヲ迎ヘツツアル件 陸戦隊先頭退山ニ進出ノ件 機密第三八番電 十日一二〇 則候所ニ白旗掲ケタルノ件	浮山所迄進出セリ	浮山所迄進出セリ	浮山所迄進出セリ	撤去サレタル旨通知アリタリ今後敵ノ攻撃ヲ受ケ タル場合ノ外砲爆撃ヲ差控フベシ 機密第三八番電 十日一三〇〇 陸戦隊本部 辛家庄東方ニ進出ノ件	浮山所迄進出セリ	浮山所迄進出セリ

0799

一九四五	一八三五	一六四〇	一六四〇	一六二三	一六二五	一五一六	一五〇〇
連艦長	44 参謀	後衛隊	リ	足柄	沖島艦	44 参謀	佐助部 隊指揮官
44 参謀 100g	一聯特参謀 木曾中島 其ノ也	44 参謀 木曾中島 其ノ也	木曾中島	木曾中島	沖島 司令官一聯 司令官一聯	沖島 司令官一聯 司令官一聯	佐助部 隊指揮官 佐助部 隊指揮官
大江口舟艇坐礁状況	連艦密第ニ番電 十日一八〇〇	44 参謀 十一日以後車輛 重器械ハ浮山所灣ヨリ糧食被 収 連艦密第ニ番電 十日一八〇〇	44 参謀 十一日以後車輛 重器械ハ浮山所灣ヨリ糧食被 収 連艦密第ニ番電 十日一八〇〇	44 参謀 十一日以後車輛 重器械ハ浮山所灣ヨリ糧食被 収 連艦密第ニ番電 十日一八〇〇	44 参謀 十一日以後車輛 重器械ハ浮山所灣ヨリ糧食被 収 連艦密第ニ番電 十日一八〇〇	44 参謀 十一日以後車輛 重器械ハ浮山所灣ヨリ糧食被 収 連艦密第ニ番電 十日一八〇〇	44 参謀 十一日以後車輛 重器械ハ浮山所灣ヨリ糧食被 収 連艦密第ニ番電 十日一八〇〇

0800

二 二 五 五	二 一 〇 五	二 〇 三 〇
pr	pr	pr
戸 4戸	戸 4戸	沖島船長
旅要司員 B部隊 司令官 次長	洲崎船長 B部隊	戸令官 司令官 特務
各隊艦ノ任務 B部隊電令作第ニ五號 4戸機密第九五番電十日一八〇〇	洲崎ヨリ燃料清水ノ補給ヲ行フ件 4戸機密第九五番電十日一九〇〇	沖島機密第一〇〇番電十日二二〇〇 棧橋構築情況

0801

一月十一日火曜所在、正午位置）浮山所灣

一、經過概要

時刻	要項	天候	風向	風力	氣温
一六〇〇		晴	向	m 8	4.5
一〇〇〇				m 2	1.0

事

時刻	記
一〇一〇	連浮山所灣取着
一三〇〇	木曾外港ニ向ケ浮山所灣發
一三三〇	木曾外港錨地着
一四五〇	沖島浮山所灣ヨリ外港へ轉錨ス
一六三六	小發三隻ヲ以テ第六驅逐隊搭載中陸戰隊物件ヲ外港棧橋ニ陸揚完了ス
一八〇〇	第三掃海艇隊（西水戦内火艇）ヲ以テ忠海及太平洋灣ノ掃海ヲ完了ス
一八二〇	沖島搭載中、陸戰隊物件ヲ外港棧橋ニ揚陸完了ス

二、主要記事

0802

三、主要令達報告通報

- (一) 木曾沖島ヲ乙錨地(外港)ニ轉錨搭載物件ヲ外港棧橋ヨリ揚陸セシム
- (二) 第三掃海艇隊(西水戦内火艇ヲ以テ編制)ヲ以テ太平灣及忠ノ海ノ掃海ヲ完了ス
- (三) 第六驅逐隊及沖島ニ搭載中ノ特陸物件全部ノ揚陸ヲ終了ス

發送時刻	發送者	着信者	通文
〇九五五	P	連艦長 P 45d トody 廣徳北監督	連機密第七三番電十一日〇〇〇〇 故障舟艇、離礁及回航状況ノ件
一〇五五	P	護衛部隊 (六驅嚴島)	四驅隊機密第九五〇番電ニ依リ木曾、十驅 ハ乙錨地ニ於テ搭載物件ヲ外港棧橋ニ陸 揚ス沖島神祥丸ベルヲスト凡廣徳北ハ重 機材及車輛ヲ先ツ浮山所ニ於テ揚陸ス 大發ハ浮山所ニ於テ小發ハ外港ニ於テ使用ス
一〇五五	P	當隊陸戰隊搭載物件ナシ	木曾沖島ハ準備出來次第乙錨地ニ轉錨

0803

一四三〇	一五五五	一七四〇	一九〇〇	一九二五
pr	pr	pr	pr	pr
P _{4H}	P _{4sd}	三掃海艇 隊指揮官	P _{4sd}	第五大隊
B 部 隊 P _{4sd}	護衛部隊 球磨 (P _{4H})	木曾 掃海艇指揮官	P _{4H} (嚴島沖島) 3ss 各參謀	4sd 3ss 4H 各參謀
B部隊電令作第二七號 太平洋及忠海ノ掃海ヲ實施セムベキ件、	4sd機密第七番電 B部隊電令作第二七號ニ依ル掃海區域分担ヲ左ノ 通定ム 第二掃海艇隊 太平洋 第三掃海艇隊 忠海 ニ各掃海艇隊ハ速ニ掃海ヲ實施スベシ參加艇 數集合等ニ関シテハ各指揮官ノ所信ニ任ス 一七〇忠海ノ掃海終了異狀ナレ續イテ太平洋 ノ掃海ヲ行フ	4sd機密第七番電 一八〇第三掃海艇隊ヲ以テ忠海及太平洋ノ掃 海ヲ完了ス	第五大隊全部堪山ニ引揚完了ノ件	CSF機密第六九番電十一日一七三〇 國崎支隊輸送船第一梯團六隻ハ本十一日夜上海 出港青島ニ直航ス所要ノ護衛並ニ北支方面軍ト

0805

二二四五	二一〇〇	二〇四〇	二〇二五
pr	pr	pr	pr
嚴島艦長	P 45d	P 4H	C5H 參謀長
(E 45d 4H サナ)	(4H 參謀長) (一聯隊司令官) 護衛部隊 嚴島金	(E 45d 4H サナ) 艦長 陸軍部隊 廣徳丸 神祥丸	(E 45d 4H サナ) 參謀長 天津 武官
廣徳丸 山東丸 ベルファスト丸 神祥丸 1件	廣徳丸 神祥丸 ベルファスト丸 山東丸 明日の丸 近大 港外 面航 大港 棧橋 スハ小港ヨリ 残存物件ノ揚 陸ヲ行フベシ 二廣徳丸ハ〇ル。近大發動艇四隻ヲ惠康丸ニ派遣 同船ノ貨物揚陸ニ從事セムベシ 三第一掃海艇隊ノ四隻ハ大港方面ニ於ケル揚陸ニ 協力ス各運送船ニ一隻宛配當スルヲ定 嚴島機密第八〇番電 十一日二二四〇 廣徳丸 神祥丸 ベルファスト丸 山東丸 錨地指定	4H 機密第八七番電 B部隊電令作第ニル號 廣徳丸 神祥丸 ベルファスト丸 山東丸 殘留物件ヲ大港ヨリ揚陸件 4H 機密第七三番電 廣徳丸 神祥丸 ベルファスト丸 山東丸 八明日の丸 近大 港外 面航 大港 棧橋 スハ小港ヨリ 残存物件ノ揚 陸ヲ行フベシ 二廣徳丸ハ〇ル。近大發動艇四隻ヲ惠康丸ニ派遣 同船ノ貨物揚陸ニ從事セムベシ 三第一掃海艇隊ノ四隻ハ大港方面ニ於ケル揚陸ニ 協力ス各運送船ニ一隻宛配當スルヲ定 嚴島機密第八〇番電 十一日二二四〇 廣徳丸 神祥丸 ベルファスト丸 山東丸 錨地指定	久米長乘船照國丸ノ間通信援助ニ関シ御配慮ア 島陸軍通信建終船大津丸及碇泊揚櫻 牛部隊ヲ青島ニ先行セシメアル筈 北支方面運參謀長天津武官ヨリ通報サレ度

21

0806

所機密第九九二番電十一日二〇〇
B部隊電令作第三〇號
諸部隊ノ任務ノ件

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

一六〇〇	〇〇〇	時刻要項
晴	晴	天候
N	N	風向
m 8	m 7	風力
24	0	氣温

(一) 當隊陸戰隊ハ任務ヲ解カレ復讐セリ
(二) 本日ヨリ揚陸ノ事ニ開シテハ主トシテ當隊主宰スルコトナリ「ベルラス」
丸神祥丸、廣徳丸、山東丸ヲ。九〇迄ニ大港沖ニ回航大港小港方
面ヨリシテ荷揚セシムルコトトス
(三) 浮山所灣揚陸設備極メテ不完全ナル爲大港小港方面ヨリ揚陸スル
コトトセラレシモ大發小發ノ故障多ク揚陸ノ作業員モ僅少ナリシ爲
本日ノ揚陸効程ハ遲々レシテ進マズリキ

發信者通信者 通信文

12/1

一三五〇	一二四九	一二四五	一二二〇	〇九四五	〇九四〇
P	P	m	P	P	P
SSd 参謀	足 柄	CSF 参謀長	足 柄	SSd 司令官	SSd 司令官
各監督官 山本 祥丸 神保 丸 佐々木 丸 小笠原 丸	水 曾 球 磨 沖 島 嚴 島 足 柄	CSF 参謀長 海軍本部 局長 細 大 司令官 佐々木	(船)	六 木 曾 六 木 曾 (CSF 参謀)	六 木 曾 六 木 曾
小港ニ於ケル荷揚等ニ關スル件	信令第三十九號 足柄艦長ハ足柄特務部(中央銀行)間ノ直通電 話ヲ假設スベシ嚴島、沖島、球磨及木曾 各艦長ハ足柄艦長ノ協議ニ應ジ材料等ニ 關シ援助ヲ與フベシ	B 部隊一部兵力異動ニ關スル件	SSd 陸戰隊各所屬ニ復級ノ件 4F 機密第十一番電 一二日一〇〇〇	洲崎、右舷木曾、六駆ニ隻 左舷一隻十 明十三日〇九〇〇ヨリ重油補給ヲ行フ	狭霧ハ十二節一時間待機其他ハ四時間待 機トナセ

0809

71

二一三〇	二〇四〇	一九四五	一九三〇	一八三〇	一八二五	一七四五
PM	PM	PM	PM	PM	P	PM
4sd 参謀	ベルファスト丸 監督官	4sd 司令官	4sd 参謀	4sd 参謀	4F 参謀	廣徳丸 監督官
廣徳丸監督官 （ベルファスト丸 山東丸、神丸、 祥丸監督官）	4sd 参謀	4sd （海々） （4F参謀長）	4sd （海々） （4F参謀長）	神丸、山東丸、 ベルファスト丸、 康丸各監督官	4sd 参謀	4sd 参謀
明日廣徳丸ハ大發小發各々約半数宛山東丸 神丸ニ配當サレ度 尚廣徳丸ニテ使用セシ 徴傭漁船ハ「ベルファスト」 丸ニ送ラレタシ	搭載物件揚陸情況ハ件	ベルファスト丸機密第八四番電 一二日一九〇〇	四水戦機密第八〇番電 一二日一九四五 第十駆逐隊ハ明日十三日補給終了後乙錨地ニ 転錨セヨ	四水戦機密第七九番電 一二日一九三〇 明日重油補給開始時刻ヲ一〇〇ニ改メラル	廣徳丸行動等ニ關スル件	發動艇使用ニ關スル件照會

0811